

琉球弧世界遺産学会巡見in与論2025
～ 与論の地域遺産に触れ、文化と自然のリンケージについて再認識する ～

開催要項

- ◆ 日時 2025 年 6 月 15 日（日） 9:00 ～ 12:00
- ◆ 主催 琉球弧世界遺産学会（通称：琉球弧世界遺産フォーラム）
- ◆ 共催 与論町、与論町教育委員会
- ◆ 定員 30 名
- ◆ 参加申し込み 不要
- ◆ 参加費 無料 （ただし、傷害保険掛け金 1 人 50 円程度）
- ◆ プログラム
 - 与論城跡集合：8:50
 - 講 師：
 - ・ 南 勇輔（与論町教育委員会主査）
 - ・ 麓 才良（与論郷土研究会会長／与論町文化財保護審議会会長）
 - ・ 當眞 嗣一（グスク研究所主宰／琉球弧世界遺産学会理事）
 - ・ 当山 昌直（沖縄大学特別研究員／琉球弧世界遺産学会理事）
 - テーマ：
 - ・ 国指定史跡「与論城跡」の見かた（担当講師：南 勇輔／當眞 嗣一）
 - ・ 「与論グスク」周辺に与論の環境文化を探る（担当講師：麓 才良／当山 昌直）

注）少雨決行

趣旨

近時、世界遺産の仕組みは、登録世界遺産に限らず地域の自然・文化遺産を持続可能なコミュニティの社会づくりに活かす方途としても注目され、その一環として文化的景観や産業遺産、自然と文化を融合する生物文化多様性などの地域遺産の価値づけに着目した取り組みが随所で展開されています。

与論町が「第六次与論町総合振興計画第 2 期実施計画」の重点プロジェクトとして取り組む関連施策のさらなる進展を期し、世界遺産がもたらした新たなツールの順応的な活用による自然と文化を統合した地域遺産の掘り起こしに繋げるため、まずは地域の記憶や集積された知見について学ぶ機会にしたいと思います。

問合せ先： 琉球弧世界遺産学会事務局（担当：濱口）

電話 090-9477-2301

メール ryusefo@gmail.com